

若手発掘の最前線⑤

VOCA展 2017

現代美術の展望

—新しい平面の作家たち

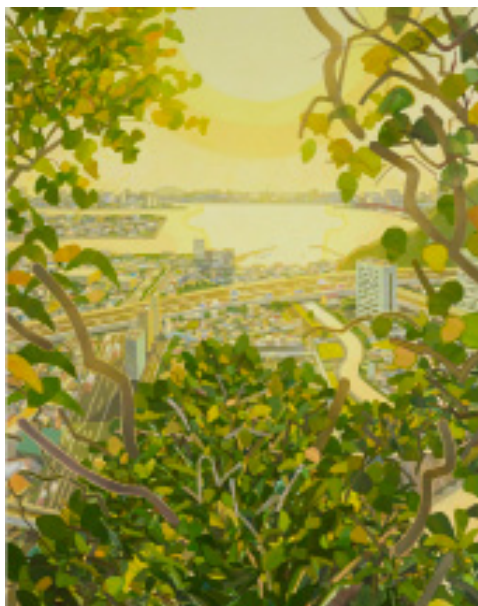
現代アートにおける平面の領域で、国際的にも通用する将来性ある若い作家の支援を目的として1994年にスタートした同展。第24回を迎えた本年は、推薦委員から推薦を受けた40歳以下の作家35名から、選考委員（建島哲、本江邦夫、島敦彦、光田由里、柳沢秀行）により、VOCA賞（賞金300万円）に幸田千依、VOCA奨励賞に上田良と鈴木基真、佳作賞に村上華子、佳作賞・大原美術館賞に青木恵美子が決定した。



VOCA賞

幸田千依 「二つの眼を主語にしよう」

(※作家インタビュー8〜9頁)



VOCA奨励賞

鈴木基真 「Ghost #4」



VOCA奨励賞 上田良

「4つのオブジェと1つの視点」



佳作賞・大原美術館賞 青木恵美子

「見知らぬ果ての」(左)

「PRESENCE No40」(右)



佳作賞 村上華子

「ANTICAMERA (OF THE EYE) #E1」(左)

「ANTICAMERA (OF THE EYE) #P4」(右)